

一般社団法人 日本学校教育相談学会第 38 回研究大会（広島大会）第三次案内

大会テーマ

すべての子どもの未来を共創する学校教育相談
—包括的生徒指導実現への第一歩—

広島大会のテーマは、「すべての子どもの未来を共創する学校教育相談 —包括的生徒指導実現への第一歩—」です。現行の生徒指導提要の中でも根幹を担う包括的生徒指導をどのように学校現場に位置づけていけばよいのか、みなさんと共に理解を深め、明日からの第一歩へ繋がられるような大会にしたいと考えております。今大会は 40 本を超える発表・シンポジウムのお申し込みをいただきました。ぜひお近くの仲間と共に、ご参加ください。

一般社団法人 日本学校教育相談学会会長 小玉 有子
第 38 回研究大会（広島大会）実行委員長 栗原 慎二

- 1 主催 一般社団法人 日本学校教育相談学会
- 2 主管 日本学校教育相談学会広島県支部
- 3 後援 文部科学省、広島県教育委員会、広島市教育委員会
- 4 期日 令和 8 年 8 月 22 日（土）・23 日（日）
※8 月 21 日（金）は同会場（予定）で夏季ワークショップが対面で開催されます。
- 5 会場 8 月 22 日午前:CLiP HIROSHIMA（広島市中区東千田町一丁目 1 番 18 号）
8 月 22 日午後~:広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

6 日程（予定）

8 月 22 日(土)

午前の部

- 9:30 開会行事
9:40 文部科学省（児童生徒課）講演
10:30 広島大会企画シンポジウム
「すべての子どもの未来を共創する学校教育相談をデザインする」
小国 士朗氏（認定 NPO 法人 delete C 代表理事・元 NHK ディレクター）
叶松 忍氏（株式会社 PLAY SPACE 代表・元広島県教育委員会）
栗原 慎二氏（公益社団法人 学校教育開発研究所 代表理事・広島大学名誉教授）
12:30 昼食・休憩(会場キャンパス内にコンビニ、周辺にスーパーや飲食店もあります。)

午後の部

13:00	15:00	15:30	17:30
ポスター	研究・実践発表	休憩	自主シンポジウム
13:30	15:10	15:30	17:10

- 18:30 情報交換会（ANA クラウンプラザ広島）

8 月 23 日(日)

9:30	10:15	10:30	12:30
研究・実践発表	休憩	自主シンポジウム	

7 参加費のご案内

参加区分	研究大会参加費	
	1 申込期間 4/10(金)~8/10(月) (厳守) 2 早割適用は 6/15(月)まで, 以降は通常参加費となります。 3 昼食弁当の申込は, 6/15(月)までとさせていただきます。	
	早割 (4/10~6/15)	通常参加費 (6/16~8/10)
会員	7,000 円	8,000 円
非会員	8,000 円	9,000 円
学生	1,000 円	2,000 円
情報交換会	8,000 円	

※当日受付はございません。必ず事前にお申し込みください。

※参加申込は、大会申込用 Web サイト (Payvent) で行ってください。

※大会申込用 Web サイトへは右の二次元コードからお申し込みください。

※学会ホームページからも申込可能です。

※発表者は必ず大会参加申込を行ってください。



8 その他

- ・研修証明書は、当日会場でお渡しします。
- ・今後、大会に関する情報は、すべてホームページに掲載します。ご確認ください。
- ・大会参加用名札は、ご自身で印刷して大会会場へご持参ください。
(名札ケースは当日お渡しします。)

9 会場アクセス

広島駅から ※JR 広島駅は改札出口にご注意ください！

【市電 (広島電鉄)】南口 2 階広島電鉄乗り場から

1 号線 (「広島港」行き) 「日赤病院前」下車徒歩 3 分

【バス】南口 1 階バスターミナルから

50 番 (アルパーク行き) 乗車 「日赤病院前」下車徒歩 3 分

広島駅新幹線口(北口)バス乗り場から

まちのわループ (左回り) 乗車 「日赤病院前」下車徒歩 3 分

【タクシー】南口 1 階タクシー乗り場から

CLiP HIROSHIMA, または広島大学東千田キャンパス (放送大学) へ 10 分程度

紙屋町・八丁堀・広島バスセンターエリアから

【市電 (広島電鉄)】紙屋町東, 本通, 立町, 八丁堀等の電停から

1 号線 (「広島港」行き) 乗車 「日赤病院前」下車徒歩 3 分

【バス】まちのわループ (左回り) 乗車 「日赤病院前」下車徒歩 3 分

広島空港から

※広島空港からは、リムジンバスのご利用が便利です。

大会会場



※CLiP HIROSHIMA は、広島大学東千田キャンパスのすぐ隣にあります。キャンパスを目印にお越しください。

情報交換会会場（ANA クラウンプラザ広島）



※広島大学東千田キャンパス前「日赤病院前」から乗車（1号線・3号線・7号線）、「袋町」で下車し、平和大通り方面へ徒歩2分。

大会参加に関するお問い合わせ先:

第38回研究大会(広島大会)実行委員会事務局長 山崎 茜

アドレス:hiroshima55net@gmail.com

会場		8月22日			
SENDA 多目的	13:00-14:00	14:00-15:00	15:30-17:30		
	ポスター発表 前半 在籍時間	ポスター発表 後半 在籍時間	学校教育相談の拡張的MLAの可能性を探る 企画者：沖林洋平（山口大学）		
SENDA 会議室 1	13:30-14:15	14:25-15:10	15:30-16:15	16:25-17:10	
	心理的虐待を受けた生徒の 自己受容感を高めた取組 小林 勉 (新潟県スクールカウンセラー)	キャリアコンサルタントによる高校生面接指導 についてー面接指導を受けた高校生がみた キャリアコンサルタントとはー 松下真由(放送大学修士課程中) 注 影響(京都先端科学大学附属中学校高等学校)	分人主義による 自殺予防教育の可能性 岩瀬由紀(北海道白樺高等学校)	学校領域におけるマインドフルネス 実践の介入について(仮) 伏見佳奈(医療法人協生会理事長東京病院) 岩瀬大樹(立教大学)	
SENDA 会議室 3	UDL実践教師の授業設計の熟達化 ーFor Cモデル(Pro-C)の視点から の予備的検討ー 中林浩子(下関市立大学)	“WITH” 誰一人取り残さない、包括 的に包摂的な教育システムの提案 中里 和裕(仙台大学)	知的障がいのある生徒と共に生きる ー生徒と私の関係性に着目してー 森本晃介(滋賀県立津湖高等学校)	教師の学級経営に対する省察と児童の学 校環境適応感の関連 ー教師用RCRTとASSESSを併用した教師 コンサルテーションの試みー 春日智輔(埼玉県公立小学校)	
A402	13:30-14:15	14:25-15:10	15:30-17:30		
	特別支援学級における児童の心に 寄り添う学級経営の実践 ーPBISとSELの視点を取り入れてー 井上 和紀(静岡県静岡市立富士見小学校)	小学校低学年における援助希求的態度の育成に 向けて ーSOSプログラムの実践と効果検証ー 岸根薫理(川崎市立下平岡小学校)	教師主導から学習者中心、共にデザインするUDL実践家へ ー伴走者なしで本質に近づける実践家への道のりー 企画者：高橋 あつ子(早稲田大学)		
A403	13:30-15:30				
	グループカウンセリングを活用した学級の仲間づくり(6) 企画者：松本直美(壬生町教育支援センター・文教大学・立教大学)				
A404			15:30-17:30		
			続！モヤモヤの中の不登校支援 企画者：星麻衣(新潟県 スクールカウンセラー)		
A501	13:30-15:30				
	教育現場に必要とされる学校教育相談とは何かを改めて考える 企画者：木村正男(教育相談学会 岐阜県支部)				

会場		8月23日			
SENDA 多目的	9:30-11:30				
	これからの教育現場において求められる実践研究とは ー科学的根拠に基づいた教育実践(EBP)から科学的根拠から示唆を得る教育実践(EIP)へー 企画者：佐藤亮太郎(東京未来大学子ども心理学部)				
SENDA 会議室 1	9:30-10:15	10:30-11:15	11:30-12:15		
	不登校児童生徒支援における段階的関係形成モデルと 大学生支援者の成長プロセスに関する実証的研究 杉山 雅宏(東京家政大学) 羽鳥結 東京家政大学大学院	不登校支援におけるコア支援の充実と機動的チーム支援体 制の構築 ー生徒と支援者を支えるチーム支援ー 上原 敬之助(近江児童福祉高校)			
SENDA 会議室 3	高等学校におけるインクルーシブ教育システムの試み ー通級指導と通常学級におけるSSTを中心にー 大隅晃弘(東北公益文科大学)	学校における居場所づくりと 教育相談について 坂本高英 (大阪府立都島工業高等学校)	協働・共有が育む豊かな教育実践を通して ー心と心をつなげようー 小川喜大(名古屋市立大森中学校) 小川明美(浜松市新規採用指導)		
A402	9:30-11:30				
	教育相談の機能を、特別活動へ実装する ー心理の視点を取り入れた、これからの学級経営と学校づくりー 企画者：中井 俊之(広島市立翠町小学校)				
A403			10:30-12:30		
			学校の教育相談体制の充実をめざして③ ー教育相談コーディネーターの役割、教員に求められる教育相談の力ー 企画者：金子恵美子(慶應義塾大学教職課程センター)		
A404	9:30-11:30				
	みんなができる発達支持的生徒指導の推進を目指して ー学校・SC・行政で創る発達支持的生徒指導の具体的実践をもとにー 企画者：原 範幸(岡山県公立学校スクールカウンセラー)				
A501			10:30-12:30		
			UDLの枠組みに基づく授業改善と教育相談 ー予防的・開発的支援を支える学習環境のデザイナーー 企画者：永田拓也(広島市立小学校)		

No	ポスター発表題目(8/22 奇数番号:前半, 偶数番号:後半)	発表者
1	教職員同士の雑談は学校組織風土とどのように関連するか?	春日 智稀 一色 翼
2	学校と家庭をつなぐポジティブ行動支援の効果 —Good Behavior チケットを活用した包括的生徒指導の検討—	枝廣 和憲 山本 美輪 桑原 唯 西村 美穂
3	自閉症児童における視覚支援を用いた自己効力感の形成に関する実践	上井 勇一 岩瀧 大樹
4	いじめ防止の構造的課題 —大津いじめ事件調査報告書を対象とした不正のトライアングルに基づく質的分析—	佐藤 亮太郎
5	社会的比較感情を生起させる個人内要因の検討 —社会情動的スキルに着目して—	太田 恵海 山崎 茜
6	安心できる居場所の確保と社会的自立の促進を両立する場の役割に関する研究 —行政・民間・SSR でのインタビューを通して—	山本 芽依 山崎 茜
7	高学年児童はなぜ友達に話しかけられないのか —関係開始スキルからの検討—	山崎 美優 山崎 茜
8	アセスを活用した教師の教師による児童生徒の効果的な支援のための学校アセスメント	中司 博之
9	多職種連携による事例検討会の実践と課題	珍田 洋子
10	大学生における学業成績や課外活動を背景要因として、ソーシャルスキルが自己効力感に与える影響について	野崎 桜文 沖林 洋平
11	不登校生への支援に関する研究—教職員へのインタビューから—	米田 薫 和久田 耕平 斉藤 麻依
12	特別支援学級担任経験は教師に何をもたらすのか —通常学級復帰後の教師の変化に着目して—	渡邊 満昭
13	高学年児童に対するメンタルヘルスリテラシー教育の検討 —小学校教員の認識に着目して—	島田 敬裕 岩瀧 大樹
14	寛容性が道徳性を媒介して日常的道徳的行動に及ぼす影響	谷芙 沙子 沖林 洋平
15	興味の喚起と学習動機の維持の関係	沖林 洋平
16	中学校における授業を中心とした包括的生徒指導導入の効果と課題	真田 穰人 栗原 慎二